

鹿児島国際大学 事業評価シート①(取組項目別)

[平成24年度]

【自己評価】

1. 取組項目	海外インターンシップの発展・充実				
2. 取組内容	(1)「鹿児島の産業界のグローバル化に関するアンケート調査」を鹿児島経済研究所と連携して実施 (2)「地域の国際ビジネス」をテーマにした講義「教養特講Ⅳ」を平成25年度開講する準備 (3)平成25年度の海外インターンシップ先の従来の中国に、台湾、韓国を加えて、3カ国に学生20名を派遣する準備 (4)インターンシップグループ内の他大学と連携しての海外インターンシップ先の開拓				
3. 成果と課題	2. 取組内容を踏まえ、該当年度の成果と次年度への展望(課題・改善策等)を記入 (1)鹿児島経済研究所と連携して鹿児島県内外に本社がある2,000社を対象に郵送によるアンケート調査を実施。有効回答数437事業所、回収率は21.9%。市内の3社にヒヤリング調査を実施。3月、調査報告書「鹿児島の産業界のグローバル化に関するアンケート調査」(71ページ)にまとめる。今後、この結果を詳細に分析し、インターンシップ教育などに活かす。 (2)平成25年度から開講するべく担当者を決め、シラバスを作成した。ゲスト講師として県内の実務家を招聘し、進行中の国際ビジネスについて体験を通じた講義を行ってもらうが、講師の選定と依頼はこれからである。 (3)平成25年度は、合計20名の学生を中国、台湾、韓国に送る計画を立て、予算措置も行った。台湾、韓国についてはインターンシップの目処が立ち、中国大連については、新たに日系企業3社でインターンシップを受けいれてもらう回答を得た。更に、シンガポールについても平成26年度以降の実施を視野に入れて、企業開拓を行った。シンガポールについてはビザの問題など解決すべき課題が多いことが分かった。 (4)下関市立大学とは韓国釜山(下関市立大提供)、中国大連(本学提供)で学生を相互に参加させる方向で計画が進んでいる。また、北九州大学の学生が中国大連のインターンシップに参加する予定である。				
評定	<input checked="" type="checkbox"/> 5. 十分評価できる	<input type="checkbox"/> 4. 評価できる	<input type="checkbox"/> 3. どちらでもない	<input type="checkbox"/> 2.あまり評価できない	<input type="checkbox"/> 1.まったく評価できない
	取組内容について、成果をあげているかという観点から評価				
理由	短い期間であったにも関わらず、(1)～(4)まで計画を実施できた。インターンシップ先についても新たに開拓できた。また、他大学との連携も取れ、本学が中心となって海外インターンシップの開拓が出来た。				

【外部評価委員会評価】

評定	<input type="checkbox"/> 5. 十分評価できる	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 評価できる	<input type="checkbox"/> 3. どちらでもない	<input type="checkbox"/> 2.あまり評価できない	<input type="checkbox"/> 1.まったく評価できない
	取組内容について、成果をあげているかという観点から評価				
理由	<竹内勝徳委 員長> 海外インターンシップによる東アジア圏のグローバル人材育成という、現在、きわめて社会的ニーズの高い教育分野について、いち早く実施を決め、周到な計画を立案し、実現に向けて動き出している点は高く評価できる。当該年度における取組内容全てについて実行できており、次年度におけるプログラムの実現性が非常に高いと思われる。特に、最大の課題である中国、台湾、韓国での受入先開拓について努力をしており、大きな成果をあげている。ただし、2週間というインターン期間と、そのうち1週間を語学研修に割り当てるといって根本的な枠組みについて、本当に教育効果があるのか疑問が残るため、さらなる検討を要すると思われる。インターンシップに望まれる語学力をどう習得させるのかについても、対応が必要である。 <稲葉直寿 委員> ・海外インターンシップの目標、理想像を掲げ、方向性を定め、実施することが必要ではないか。 ・基本となる学生、学校、受入企業、三位一体(三方よし)のメリット制を構築することが継続する力となる。 ・海外インターンシップの初年度としては高く評価出来る。実施し、実効果を得、次につなげる為、発展へ確かなステップを踏んでいる。 <岩元修士 委員> ・(1)～(4)まで実行できている ・20名の研修先確保 ・ユニークな取り組みの第一歩として評価 ・今後グローバル人材の育成という命題のなかでどう位置付けるのか？ ・目的の明確化、再確認が必要 ・学生への金銭面での援助が必要な場合があるのでは？				

【アドバイザー評価】

評定	<input type="checkbox"/> 5. 十分評価できる	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 評価できる	<input type="checkbox"/> 3. どちらでもない	<input type="checkbox"/> 2.あまり評価できない	<input type="checkbox"/> 1.まったく評価できない
	取組内容について、成果をあげているかという観点から評価				
理由	・学生を受け入れる企業に対するアンケート実施はとも評価できる。 ・人数(インターンシップに参加した学生の)は少なかつたものの、貴重な体験をされたと察する。 ・内容がややあいまい、試行錯誤の中、途上にあると思われるが、最初に成すことには、非効率性や障壁がたちはたかる。是非、それを乗り越えて、すばらしい取り組みにしていきたいと切に願います。 ・他校との連携、引率など、今後の課題(特に経済性)もある。 ・インターンシップ終了後のフォローがもっと明確にあるといい。				

鹿児島国際大学 事業評価シート①(取組項目別)

【自己評価】

[平成24年度]

1. 取組項目	国内インターンシップの発展・充実				
2. 取組内容	(1)「3日間社長のカバン持ち体験」の発展・充実 (2)インターンシップフェアの実施 (3)国内インターンシップ科目のシラバス改訂				
3. 成果と課題	2. 取組内容を踏まえ、該年度の成果と次年度への展望(課題・改善策等)を記入  (1)インターンシップの報告集、報告会費用を平成25年度の大学予算として一部計上し、鹿児島相互信用金庫との連携事業として発展継続させる。 (2)平成25年2月5日(火)に開催したインターンシップフェアにおいて、インターンシップに参加した学生による成果発表およびパネルディスカッションを実施した。 またフェア終了後は、今年度のインターンシップやフィールドワーク等に関するポスターセッションを行った。 (3)平成25年度の国内インターンシップ科目を前期後半8回の授業、事前研修(ビジネスマナー講座)、夏休みのインターンシップ実習、事後研修の4本立てとした。 特に、前期の後半8回を使い、「地域経済の現状と未来」、「産業界が求める人材」について各3回、企業の経営者や金融機関の管理職の方を招いて講義して頂く。 また、インターンシップに向けての面接や指導も授業の中で実施する。				
評定	<input type="checkbox"/> 5. 十分評価できる	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 評価できる	<input type="checkbox"/> 3. どちらでもない	<input type="checkbox"/> 2.あまり評価できない	<input type="checkbox"/> 1. まったく評価できない
	取組内容について、成果をあげているかという観点から評価				
理由	平成25年度の予算として、インターンシップの報告集、報告会費用を計上し、来年度につなげることができた。 インターンシップフェアを実施し、インターンシップに参加した学生のプレゼンテーションの機会を与え、今後の発展充実につなげた。 時間が不足して、国内インターンシップの発展・充実のために企業と協議をする機会が取れなかったことは残念である。来年度以降には実施したい。 国内インターンシップの事前授業として1コマを確保し、シラバスを完成させ、来年度事業計画に盛り込むことができた。講師の選定と依頼がこれからの作業となる。				

【外部評価委員会評価】

評定	<input type="checkbox"/> 5. 十分評価できる	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 評価できる	<input type="checkbox"/> 3. どちらでもない	<input type="checkbox"/> 2.あまり評価できない	<input type="checkbox"/> 1. まったく評価できない
	取組内容について、成果をあげているかという観点から評価				
理由	<p>&lt;竹内勝徳 委員長&gt; 「社長のカバン持ち」を中心に充実した内容を整備しており、インターンシップの中核科目としての働きが大いに期待できる。特に、インターンシップ科目、事前指導、インターンシップ実習、事後研修を一つのプログラムとして統合している点は高く評価できる。また、インターンシップを受入先に依頼することに留まらず、インターンシップフェアの開催により、学生の成果の教育的フィードバックや、社会や企業へのアピールの機会が確保されている点や、ウェブ・ポートフォリオへの記録を共有できるシステムなども独創的と言える。ただ、長期インターンシップも含めた制度の充実や、参加学生数の増加、さらには、インターンシップと正規採用の橋渡しのような対応も望まれる点である。</p> <p>&lt;稲葉直寿 委員&gt; ・インターンシップ実施後、体験後、その体験感想を自分の言葉で発表する場合は、学生のキャリアに大いに役立つもので評価できる。 ・手作りのインターンシップフェアは、今後の指針に役立つもので高い評価出来る。</p> <p>&lt;岩元修士 委員&gt; ・インターンシップフェアの実施により、インターンシップの意義がより理解されるのでは。実施会場含めて、よい取組と思う。 ・メインとなる取組なので更なる取り組みの充実が求められる。次にきていただきたい層をどう参加へ仕向けるか工夫が求められる。</p>				

【アドバイザー評価】

評定	<input type="checkbox"/> 5. 十分評価できる	<input type="checkbox"/> 4. 評価できる	<input checked="" type="checkbox"/> 3. どちらでもない	<input type="checkbox"/> 2.あまり評価できない	<input type="checkbox"/> 1. まったく評価できない
	取組内容について、成果をあげているかという観点から評価				
理由	<p>・カバン持ちという発想は、とても面白い試みだと思います。 ・ただ、社長により、内容はまちまち。したがって、①情報共有、②マッチングをより円滑に出来る仕組みに期待している。 ・現場の方を招いての授業は評価できる。</p>				

鹿児島国際大学 事業評価シート①(取組項目別)

【自己評価】

[平成24年度]

1. 取組項目	産業界と連携したフィールドワークの展開				
2. 取組内容	従前の取組内容を発展・充実させた新たな取組として、地域の産業界とのコラボレーションによる地域貢献プロジェクトを実施する。また、かごしま市商工会と連携して、商店街の活性化などの取り組みによる人材育成を行う。このような取組により地域のニーズに対応するとともに、学生が実社会とのつながりの中で、問題発見能力、自ら考える力、主体性、協調性など、社会で必要とされる能力を身に付けられるようにする。				
3. 成果と課題	2. 取組内容を踏まえ、該年度の成果と次年度への展望(課題・改善策等)を記入				
	かごしま市商工会との連携事業として、フリーペーパー制作と販売研修の実施を行った。商工会からの要望として、菓子業を営む5店舗をフリーペーパーで紹介すること、販売イベントを実施することがあげられた。学生募集を行い、フリーペーパー制作を行うプロジェクトを発足させた。販売イベントまでの過程を通し1,000部のフリーペーパーを配布し、店舗の知名度を上げることに繋がった。その他、鹿児島島の魅力を発信することを目的とした路面電車のラッピング(白くま黒豚電車)プロジェクト(協力企業多数)、リポビタンDプロモーション企画(大正製薬、KYT鹿児島放送、博報堂との連携)などのフィールドワークを実施した。就業力育成プロジェクト室に併設されているコミュニティールームが、学生のフィールドワーク活動の場として定着してきたことも確認できている。次年度以降も活動に応じた適切な参加人数には配慮しながらも参加人数を増やしていくことが望まれる。				
評 定	<input checked="" type="checkbox"/> 5. 十分評価できる	<input type="checkbox"/> 4. 評価できる	<input type="checkbox"/> 3. どちらでもない	<input type="checkbox"/> 2. あまり評価できない	<input type="checkbox"/> 1. まったく評価できない
	取組内容について、成果をあげているかという観点から評価				
理 由	充実したフィールドワーク活動を展開することができたと思われる。いずれも地域貢献という目的にも沿った活動であり、外部の企業・団体と連携することにより学生が実社会とのつながりも感じる事となった。学生の活動の幅を広げるだけでなく、自ら考える機会、それを人に伝えるなどの機会を十分に提供することができたと考えられる。				

【外部評価委員会評価】

評 定	<input checked="" type="checkbox"/> 5. 十分評価できる	<input type="checkbox"/> 4. 評価できる	<input type="checkbox"/> 3. どちらでもない	<input type="checkbox"/> 2. あまり評価できない	<input type="checkbox"/> 1. まったく評価できない
	取組内容について、成果をあげているかという観点から評価				
理 由	<p>&lt;竹内勝徳 委員長&gt; フリーペーパーや市電のラッピング、リポビタンDの販促など、きわめて独創的な試みであり、学生主体の活動の可能性を感じさせてくれた。特に、市電のラッピングでは、寄付金等を150万円集め、実際に電車を走らせるという優れた実績を残している。これらの試みでは、社会や企業との連携の中で、学生の着眼力、企画力、表現力や問題解決能力が確実に向上すると考えられる。可能であれば、一連の活動の単位化や、授業での有機的な位置づけを検討することが望まれる。</p> <p>&lt;稲葉直寿 委員&gt; ・ひとつのプロジェクトを完成する学生が取り組むのは、将来企業社会人になる時に大いに役立つもので、企画、着眼力、観察力、表現力の育成に役立っている。</p> <p>&lt;岩元修士 委員&gt; ・素晴らしい取り組み。 ・更なる充実と学生の自主性を尊重したスタンスの継続を求めます。</p>				

【アドバイザー評価】

評 定	<input checked="" type="checkbox"/> 5. 十分評価できる	<input type="checkbox"/> 4. 評価できる	<input type="checkbox"/> 3. どちらでもない	<input type="checkbox"/> 2. あまり評価できない	<input type="checkbox"/> 1. まったく評価できない
	取組内容について、成果をあげているかという観点から評価				
理 由	<p>・何よりも実績が出て、企業および消費者からの評価も高いという事実は極めてすばらしい。 ・学生が、テーマならびに協力先を見つけて来たことも、とても驚きであった。 ・これらのプロジェクトを、何人の学生に影響を及ぼせるかが課題か？</p>				

鹿児島国際大学 事業評価シート①(取組項目別)

【自己評価】

[平成24年度]

1. 取組項目	Webキャリア・ポートフォリオによる記録と振り返り				
2. 取組内容	学生たちが取り組んだ内容と自己評価をWebキャリア・ポートフォリオに記録させる。これを利用して各自がPDCAサイクルを回すことによって、社会的・職業的に自立した、産業界のニーズに対応した人材を目指す。また、Webキャリア・ポートフォリオを利用して教育効果を評価・確認する。				
3. 成果と課題	2. 取組内容を踏まえ、該当年度の成果と次年度への展望(課題・改善策等)を記入				
	<p>インターンシップやフィールドワーク活動において、学生同士の連絡やミーティング記録の掲載、活動報告などでの活用の有効性が確認された。また、利用者の利便性を考慮したシステムの改良も実施した:①「事前自己評価」の入力時に「目標」、「事後自己評価」の入力時に「学んだこと」「今後の課題」を併せて入力できるようにする、②学期ごとの修得単位数と累積修得単位数の軸を分け把握しやすくする、③自己評価科目データ・自己評価データを分析用に出力。</p> <p>来年度は、活動参加者の自己評価や記録の入力率のさらなる増加が期待できる。インターンシップ、フィールドワーク活動での自己評価と記録を多くの参加学生が行ったが、入力の徹底という点で十分ではなかった。学生の入力率の増加と教育効果の測定のためには、教員との連携体制の強化が不可欠であり、今年度はこの点で課題が残る。</p>				
評 定	<input type="checkbox"/> 5. 十分評価できる	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 評価できる	<input type="checkbox"/> 3. どちらでもない	<input type="checkbox"/> 2.あまり評価できない	<input type="checkbox"/> 1. まったく評価できない
	取組内容について、成果をあげているかという観点から評価				
理 由	Webキャリア・ポートフォリオのログイン率は前年度比130%(2月末現在)であり、利用者数が増加している。システムの改良を実施したことにより、今後の教育効果の評価も容易になると考えられる。				

【外部評価委員会評価】

評 定	<input type="checkbox"/> 5. 十分評価できる	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 評価できる	<input type="checkbox"/> 3. どちらでもない	<input type="checkbox"/> 2.あまり評価できない	<input type="checkbox"/> 1. まったく評価できない
	取組内容について、成果をあげているかという観点から評価				
理 由	<p>&lt;竹内勝徳 委員長&gt; 専任職員による書き込みや、インターンシップの日誌としての利用などにより、ウェブ・ポートフォリオの利用率を、他大学と比較して、非常に高めており、本システムを使いこなしていると言える。特に、インターンシップの記録については、他の学生への波及効果が大きく、今後の本システム利用のさらなる実質化に期待ができる。この種のシステムとしては、インターフェイスも使いやすく作られている。現行では、本システムを利用している授業科目は限られているというが、さらなる利用の拡大、並びに、就活に関わる情報交換への応用が望まれる。</p> <p>&lt;稲葉直寿 委員&gt; ・当システムは、学生が伸化する要因になるもので、学生生活(大学時のひとつの目的、就活にも大いに役立つものである。</p> <p>&lt;岩元修士 委員&gt; ・更なる活用が必要である。 ・教員・学生双方の連携がポイント。</p>				

【アドバイザー評価】

評 定	<input type="checkbox"/> 5. 十分評価できる	<input type="checkbox"/> 4. 評価できる	<input checked="" type="checkbox"/> 3. どちらでもない	<input type="checkbox"/> 2.あまり評価できない	<input type="checkbox"/> 1. まったく評価できない
	取組内容について、成果をあげているかという観点から評価				
理 由	<p>・ユニークユーザー数の向上を是非きわめて欲しい。 ・学生への回答率は100%に。その機能、仕組、誰がやる、を至急詰めていただきたい。 ・学生の相互利用、情報共有は、第2弾のメインテーマか？ ・必ずこのポートフォリオを使わないと学生生活を過ごせない、という仕組を考えて欲しい。</p>				

鹿児島国際大学 事業評価シート②(全体評価)

【自己評価】

[平成24年度]

<p>1. 取組の経緯とこれまでの実績</p>	<p>鹿児島国際大学は、平成22年度以降「大学生の就業力育成支援事業」として「自分の言葉で表現できる学生の育成」を目的に就業力育成に取り組んできた。この目的を達成するために、全学的な教育改革を行い、学部・学科を中心に大学として「自分の言葉で表現できる」学生の育成に焦点をあてた段階的かつ連鎖的なプログラムを構築する事に取組、カリキュラムに反映させた。</p> <p>具体的には、「経験提供」と「能力形成」を学生に保証するという観点から、「オムニバス講義」「フィールドワーク」「演習」という3つの科目(群)に焦点を絞り、各科目(群)の再編・改革を行うと同時に、これらを一連の活動として明確にリンクさせた。以上の取組を着実に実行するとともに、PDCAサイクルによる評価・検証を徹底し、取組の有効性・妥当性を高め、「自分の言葉で表現できる」学生を育成するための効果性の高いプログラムを、ホームページ、新聞、雑誌を通して社会や他大学に向けて公表・提案している。</p> <p>本取組では、インターンシップの高度化を目指し、鹿児島国際大学も含め9校でインターンシップグループを組織する。これまでのグループ校での取組から得られた知見と課題を共有し、産業界の意見を踏まえながら、効果的かつ持続可能なインターンシップ実施のためのモデルプログラム(高度化モデル)の開発を行うこととする。また、インターンシップに係る学修評価についても課題のひとつとして採りあげる。</p> <p>インターンシップグループの年次計画としては、①平成24年度は各大学の事例の共有化と高度なインターンシッププログラム開発、②平成25年度は開発プログラムの9大学での実施、③平成26年度は実施ノウハウの集約化、インターンシップ継続のための仕組み作りを行う。なお、達成目標として、インターンシップ参加学生数の増加率を25年度/23年度=120%と設定している。</p> <p>なお、鹿児島国際大学は、「大学生の就業力育成支援事業」での成果を基に、本事業の趣旨・目的を踏まえ、新たな取組としてインターンシップをさらに発展・充実させることとしている。</p>
<p>2. 取組内容</p>	<p>事業の取組項目を箇条書で記入</p> <p>(1)海外インターンシップの発展・充実 ①鹿児島県の産業界のグローバル化に関する調査、②海外インターンシップの開拓・調査(インターンシップグループ校との連携)</p> <p>(2)国内インターンシップの発展・充実 ①事前学習の充実(体制整備)</p> <p>(3)産業界と連携したフィールドワークの展開 ①かごしま市商工会等との連携によるプロジェクトの実施</p> <p>(4)Webキャリア・ポートフォリオの活用(システムの改修)</p> <p>その他 取組全体に係る内容として ①事務局等、実施体制の構築 ②九州・沖縄会議、インターンシップグループ会議への出席</p>
<p>3. 実施体制・運営組織</p>	<p>別紙「実施体制図」参照</p>
<p>4. 成果と課題</p>	<p>上記1～3を踏まえ、該当年度の成果と次年度への展望(課題・改善策等)を記入</p> <p>取組内容の成果と課題については、項目別評価シートのとおりである。その他、取組み全体に係る内容の成果として、 ①事務局等、実施体制の構築 従来の就業力育成事業の組織名称を一部引き継ぐことで、外部との連絡に配慮した。そのうえで、就業力育成プロジェクト委員会、インターンシップ委員会のメンバーをそれぞれ見直し、事業の承認機関である就業力育成プロジェクト委員会については、学内事務局の長を中心としたメンバー構成とした。また、インターンシップ委員会は国内・海外インターンシップの科目担当者を中心としたメンバー構成とし、シラバスの作成や事前学習の内容等、実務的な議題を検討できるものとした。 ②九州・沖縄会議、インターンシップグループ会議への参加 特にインターンシップグループ校が情報交換を行うなかで、連携を深めることができた。また、海外インターンシップの開拓・調査では、個々の大学がこれまで提携している企業、大学等を訪問し、次年度の実施に向け道筋をつけることができた。</p>
<p>評定</p>	<p><input type="checkbox"/> 5. 十分評価できる <input checked="" type="checkbox"/> 4. 評価できる <input type="checkbox"/> 3. どちらでもない <input type="checkbox"/> 2. あまり評価できない <input type="checkbox"/> 1. まったく評価できない</p> <p>取組内容について、成果をあげているかという観点から評価</p>
<p>理由</p>	<p>当初、本事業は平成24年4月にスタートする予定であったが、内定が大幅に遅れ、結果的に10月16日にスタートとなった。平成24年度は、来年度以降、本格化する取組の準備段階である。そのなかで約5カ月間の実施期間にもかかわらず、上記の取組内容を実施していること。加えて単に実施しただけでなく、企業のニーズ調査の報告書作成、グループ校との連携も含め海外インターンシップの受入企業の確保、また、かごしま市商工会との連携によるフィールドワークの実施等において成果をあげている。ただし、国内インターンシップの改善についての検討がやや遅れている。</p>

【外部評価委員会評価】

<p>評定</p>	<p><input type="checkbox"/> 5. 十分評価できる <input checked="" type="checkbox"/> 4. 評価できる <input type="checkbox"/> 3. どちらでもない <input type="checkbox"/> 2. あまり評価できない <input type="checkbox"/> 1. まったく評価できない</p> <p>取組内容について、成果をあげているかという観点から評価</p>
<p>理由</p>	<p>&lt;竹内勝徳 委員長&gt; インターンシップを大学教育に取り入れるだけではなく、海外にもその受皿を数多く見出し、事業の充実と拡大に向けて着実に歩んでいる。国内の企業はもちろん、中国、台湾、韓国の企業とも密接なつながりを構築し、長期的な事業の継続と発展を期待させる。また、23大学と連携する中で取組を進めてきており、他大学からの情報や結びつきを活用できる点も大きな強みとなっている。学生独自のフィールドワーク力をうまく生かすことで、メディア、市場、生産など様々な局面を含め、企業と協力した教育力をデザインできている。ウェブ・ポートフォリオは、そうした一連の教育活動を学生自身の自己評価へと還元させると共に、学生同士の情報交換を可能にする動きをしている。これらの取組がうまく融合しており、今後の本学の教育の核となると思われる。ただ、個々のプログラムの内容や授業との関わり、単位認定の仕方などについては、まだ改善の余地があると思われる。</p> <p>&lt;稲葉直寿 委員&gt; ・就業力育成支援事業に海外インターンシップが加わり、更に、国内インターンシップと併行して継続したと同時に、事業そのものも体制、手法、実行面に伸化した姿が見られ、十分評価出来る。</p> <p>&lt;岩元修士 委員&gt; ・取組内容それぞれに取り組みがなされ評価できる。 ・今後更に充実させていけば効果が期待される。</p>

【アドバイザー評価】

<p>評定</p>	<p><input type="checkbox"/> 5. 十分評価できる <input checked="" type="checkbox"/> 4. 評価できる <input type="checkbox"/> 3. どちらでもない <input type="checkbox"/> 2. あまり評価できない <input type="checkbox"/> 1. まったく評価できない</p> <p>取組内容について、成果をあげているかという観点から評価</p>
<p>理由</p>	<p>・単発に終わらず、中期的な視点から、継続性を意識して、各取組を改定・改良を重ねている点は、高く評価できる。 ・一方、各論では、期間が短かったこともあり、不明確なところも散見される。 ・定着～拡大し、鹿児島県の発展、世界の発展に寄与されることを期待しています。</p>